

(別紙4(2))

事業所名 グループホームかんの里 きずなユニット

作成日: 令和 7年 3月25日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	昼食試食会や地域との災害時の訓練等に参加した頂けることも良いと思います。	運営推進会議の開催を2月ごとに行い、事業所の様々な場面を委員の方に見て頂く機会を設け、意見を頂くようにする。	○ 令和7年度は4月、6月、8月、10月、12月、2月に開催する。 ○ 提案された食事の場面や行事の番目を見学して頂く機会も設ける。	11月
2	11	ユニットリーダーと管理者の間の定期的な会議の開催に期待します。	運営に関する意思疎通をする。	○ 拠点内会議を新設(1回/月) ○ ユニットリーダー会議の新設(1回/月) ○ 役付会の開催(随時)	12月
3	12	職員の頑張りに対して評価してもらえる仕組みの導入も良いと思います。	職員のエンゲージメントを高める。	○ 理念研修の実施 ○ 人事考課の実施 ○ 職員面接の実施 ○ 拠点内合同研修の実施	12月
4	23	利用者の思いや意向から本人の生きがいや長生きの目標につなげている様にしていけると良いと思います。	サービス計画書の「本人家族の生活に対する意向」の欄に、本人の言葉やこだわりを記載できるようにする。	○ 居室担当者により、本人の日頃の言葉をまとめたり、家族へ本人の志向を確認し言語化する。 ○ 上記に対し個別のプランを作成及び実行する。	12月
5	20	外出が難しい時も手紙や写真により馴染みの方との関係継続が行われていますので、昔話から回想法につなげられると良いと思います。	入居者との会話を通して、個々の記憶に働きかけて、自信や意欲につながる様にする。	○ 集団で昔の話をする場面を設ける。	12月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。